

## 第三セクター等 経営健全化方針

### 1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和4年1月31日（改定）

※士別市農畜産物加工(株)「新たな経営改善プラン」策定に伴う改定  
士別市経済部農業振興課

### 2. 第三セクター等の概要

法人名 士別市農畜産物加工株式会社  
代表者名 代表取締役 法邑 和浩  
所在地 士別市武徳町  
設立年月日 平成7年4月  
資本金 1,000万円(出資割合100%)  
事業内容 農畜産物の加工販売

### 3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの士別市の関与

士別市農畜産物加工(株)は地場農産物の馬鈴薯を中心に付加価値を高め、農業者の所得向上をめざし更には地元雇用の場を創出するため、平成7年に市の出資比率100%の第三セクターとして設立されました。市は設立当初から運転資金の貸付を行っており、現在累計で9,050万円になっています。

経営状況については、令和元年度から3年間の「経営改善プラン」に沿って経営の改善に取り組み、令和2年度決算では繰越利益剰余金(累積債務)がマイナス3,618万円、出資金1,000万円と合わせた純資産は、マイナス2,618万円となっています。

市は定例取締役会のほか、収支に関して毎月報告を受け、日頃から経営状況の把握に努めています。

### 4. 抜本的改革を含む経営健全化の取り組みに係る検討

士別市農畜産物加工(株)は令和元年度から3年間の「経営改善プラン」の取り組みにより、令和2年度決算において経営改善プラン策定前の平成30年度決算と比較し約1,000万円の累積債務を縮減することができました。しかし、令和3年度は材料費の高騰などにより製造経費が増加し、収益性が低下している状況にあります。

士別市農畜産物加工(株)では、収益性の改善等に向け令和4年度から3年間の「新たな経営改善プラン」を策定し、経営の安定化をめざしています。

また、現在会社への出資比率は市が100%となっていますが、出資金や代表権などの変更について、協力会社と協議をおこない、これまで以上に積極的な関わりと経営の立て直しを図っていきます。

### 5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

士別市農畜産物加工(株)は令和4年度から3年間の「新たな経営改善プラン」に基づき、間接的な作業手順の削減等による製造の効率化や製品価格の改定等、収益性の改善を進めます。

「新たな経営改善プラン」では、計画期間の3年間で約600万円の純利益を見込んでおり、計画を下回った場合、会社の存続を含め協力会社と協議します。

資金繰りについては、協力会社の支援を得るとともに、運転資金としての貸付金は令和元年度から毎年300万円を減額することとしています。また、コロナ禍の影響を考慮し特例的に令和4年度から令和6年度までは毎年200万円の減額とし、市の財政的リスクを軽減します。

また会社の運営状況について第三者の意見を取り入れるため、決算期などに合わせて「経営検討委員会」を開催します。

6. 法人の財務状況

	項目	金額 (千円)		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
貸借対照表から	資産総額	91,819	101,173	90,890
	(うち現金預金)	46,540	56,825	49,219
	(うち売上債権)	23,853	23,407	22,283
	(うち棚卸資産)	17,475	16,961	15,227
	(うちその他)	0	0	670
	(うち固定資産)	3,951	3,980	3,491
	負債総額	128,459	128,298	117,067
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	(0)	(0)	(0)
	純資産額	△ 36,640	△ 27,125	△ 26,177

	項目	金額 (千円)		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
損益計算書から	経常収益	263,485	251,451	220,690
	経常費用	263,375	241,856	219,662
	経常損益	110	9,595	1,028
	経常外損益	△ 80	△ 80	△ 80
	当期純損益	30	9,515	948